



とっとり

公益財団法人
鳥取県国際交流財団
Tottori Prefectural International Exchange Foundation
公益財団法人鳥取县国际交流财团

国際通信

No. 141
Nov. 2022

TOTTORI KOKUSAI TSUSHIN 鸟取国际通讯 Bản tin quốc tế Tottori



表紙 Photo

令和4年度 「よなご国際交流フェスティバル」(9/25)

2022 Yonago International Exchange Festival (9/25)

令和4年度「米子国際交流欢乐节」(9/25)

LỄ HỘI GIAO LƯU QUỐC TẾ YONAGO NĂM 2022 (9/25)



目次 Contents / 目录 / Mục lục

● TPIEFだより 主な事業の開催状況	02	● われら“鳥取人”	07
● 私費外国人留学生奨学金制度の紹介		● JICAデスクよりお知らせ	07
● 財団の新しい仲間の紹介		● 英語版・中国語版・ベトナム語版 ダイジェスト	08-09
● よなご国際交流フェスティバル2022	03	Information in English, Chinese and Vietnamese	
● 海外レポート ニューヨーク鳥取県人会	04	英文版・中文版文摘・越語版	
● 多文化共生サポーター オンライン研修の報告		Bản tóm tắt bằng tiếng Anh-Hoa-Việt	
● 特集 子どものための異文化理解体験講座を開催中!	05	● 賛助会員募集のご案内	10
● 共に生きる ～多文化共生～	06	● ワールドレシピ	10

令和
4年度

主な事業の開催状況



私費外国人留学生奨学金制度の紹介

2種類の奨学金制度により、鳥取県内の大学、大学院、短期大学、高等専門学校に在籍し、経済的援助を必要とする私費留学生へ奨学金を支給しています。①「私費外国人留学生奨学金」は平成9(1997)年度より開始し、平成26(2014)年度からは、新たに②「鳥取県友好提携・交流地域私費外国人留学生奨学金」を設け、鳥取県と交流のある地域(韓国・江原道、中国・吉林省、ロシア・沿海地方、モンゴル・中央県、中国・河北省、ロシア・ハバロフスク地方、台湾・台中市、アメリカ・バーモント州、ジャマイカ・ウエストモアランド県)の出身者、又は当該地域の大学に在籍若しくは卒業している者に奨学援助を行っています。

奨学生は、「鳥取県の地域住民」との国際交流や多文化共生を推進する活動を大切にしています。ここ数年はコロナ禍で行動が制限されることも多く、学内での活動やオンラインでの交流、ソーシャルメディアによる発信など、できる範囲で取り組んできました。今年度に入り対面による活動も少しずつ増え、農作業や台風被害の復旧ボランティア、地域住民との料理交流や文化紹介など、活動の幅が広がってきました。

これからも、財団奨学生の活躍にご期待ください。



令和4年度私費外国人留学生奨学金奨学生決定書授与式

日付 7月6日(水) 会場 県民ふれあい会館

- ①通年11名(出身:中国、バングラデシュ)、
- ②前期1名(出身:台湾台中市)

■県内の大学等に在籍している留学生は約190名。国費留学生、外国政府派遣留学生、私費留学生に大別されます。留学生数は各機関がホームページで公開している令和4年10月時点の情報をもとに算出。



財団の新しい仲間の紹介



国際交流推進員
ばんだい じゅんこ
万代 純子

8月から本所の国際交流推進員となりました万代と申します。県内の外国人住民の方々が暮らしやすいまちづくりや、地域住民の方々に国際交流への興味を深めていただけるような取り組みのお手伝いのできればと思っています。

国際交流財団では、やさしい日本語や多言語による情報発信及び相談受付、異文化理解講座などを行っていますので、ご相談等ありましたらお気軽にご連絡ください。

皆様との交流を通して、様々な国の文化や価値観に出会えることを楽しみにしています。よろしくお願いたします。



国際交流コーディネーター
(中国語)
だん べい
党 培

初めまして。8月から鳥取県国際交流財団の本所の国際交流コーディネーター(中国語)となりました党培と申します。どうぞ、宜しくお願い致します。

国際交流の仕事は3か月余りですが、20年近く日本に住んでいる私が肌で感じた経験から、外国人の目線で鳥取県在住の外国人がより楽しく、暮らしやすい環境が作れるようにお手伝いできると嬉しく思います。

Facebookを経由し、母国語で様々な日常生活に必要な情報を発信しています。それから、県内在住の外国人に向けて母語での生活相談や支援なども無料で行っています。

また、日本の皆さんと幅広い交流ができることも楽しみにしています。

よなご国際交流フェスティバル 2022

新型コロナウイルス感染予防対策をし、「よなご国際交流フェスティバル2022」を3年ぶりに開催しました。
参加団体のみなさんをはじめたくさんの方々にご来場いただき、フェスティバルを待ち望まれていた様子をお届けします。

本フェスティバルは「みんなで作るフェスティバル」をモットーに、参加団体による実行委員会を立ち上げ準備を進めてきました。コロナ禍で会場での飲食はできませんでしたが、展示や物品販売、ステージ発表と3つの部門に分かれて日頃の活動報告や世界の国々について文化を紹介するなど交流を楽しみました。なお、米子市と当財団は防災への関心を深めてもらう取り組みとして、防災グッズの展示を行いました。多くの種類の防災グッズを実際に見る機会は少ないため、外国の方々の関心は高く必要性についても理解を深めてもらう貴重な機会となりました。
来場者の方々からも「わくわくして楽しみにして来ました」「久しぶりに参加できることを嬉しく思います」など喜びの声が聞かれました。
ぜひ来年も、みなさんと笑顔でお会いできることを心待ちにしております。



オープニングのパフォーマンス!



世界の珍しい民芸品の展示



大好評だったモンゴルの岩塩



着物の帯で華やかに花を咲かせました!



防災ハンドブックの説明



中国語の歌声が会場を包みました



スタンプラリーでブース巡り



お買い物でも異文化を楽しめる品々



初出場の参加団体やボランティアの方にインタビューしました!

- 着物の帯でお花を表現しました。1つ1つ帯の花に、皆さんから拍手をいただいたことがとても嬉しかったです。(装道礼法きもの学院)
- ステージに立つ前はドキドキしました。幕が上がったら気持ちが落ち着き、銭太鼓を楽しもうと思いました。フェスティバルが開催されて本当に嬉しいです。既に、来年のことを考えています。(霞ゆ楽会)
- 初めてのステージ発表で緊張しました。ベトナムの歌と踊りがどうなるか心配しましたが、無事に終えてホッとしています。(境港市)
- 初めてボランティアとして参加しました。参加団体も来場者もみなさんが、楽しそうにしている姿が印象的でした。ステージの団体紹介をリレー式に出演者同士で行くことや運営も参加団体がシフトを組み協力しながら対応している姿が、みんなで作るフェスティバルでいいなと思いました。(吉井さん)



青江実行委員長のメッセージ

待ちに待った「よなご国際交流フェスティバル2022」が開催されました。天候にも恵まれ、たくさんの方に来ていただくことができました。展示や物販の各ブースでは、心の通う交流があらこちらでみられ、またステージでは出演者のパフォーマンスに熱い拍手が送られ、最後は会場一体となって盛り上がりました。コロナ禍で人との交流が制限される中で行われた今回のフェスティバルですが、人と人との関わりの中で異なる文化を理解し、深めていくことへの一歩になったと確信しています。
ご協力をいただいた多くの皆様、ありがとうございました。

県内で開催される国際交流フェスティバルのご案内

- くらしよ国際交流フェスティバル2022 <日時> 11月20日(日) 11:00~14:00 <会場> 伯耆しあわせの郷
- 第34回(2022年度)タイムフェスティバル <日時> 11月23日(水・祝) 11:00~15:00 <会場> とりぎん文化会館
「Come, Enjoy and Take Home the World~あつまれ!世界の文化~」



海外レポート

ニューヨーク 鳥取県人会より



みなさん、海外には鳥取にルーツのある人々で構成される“鳥取県人会”がいくつかあることをご存じでしょうか？今回は、ニューヨーク鳥取県人会のメッセージをご紹介します。

ニューヨーク(NY)鳥取県人会は、1996年頃に山陰地方に縁のある方々が集まり親睦会を持つ事から始まりました。今日、NY鳥取県人会には会員という枠は存在せず、ニューヨークとその周辺にお住まいの30名の方々の郷土愛により存続しています。ここ数年はオンラインでの親睦会、今後は再び以前のように食事会を持ち故郷を語っていく事となります。

ニューヨークではコロナ禍は過去のものとなりつつあります。今年の春からマスク着用者は減少し、この夏に遊園地等に出かけましたが、私が見た限りマスク着用者はゼロでした。

鳥取県とバーモント州の姉妹交流は、過去20年以上の歴史があります。交流の証として2010年より県内の青少年が毎年バーモント州を訪れておられ、2012年よりニューヨーク市へも経由されるようになりました。その時はNY県人会の方々と昼食を共にする貴重な機会があり、我々は新鮮な刺激を頂いております。現在はコロナ禍にあり人員の交流も難しい状況ですが、近い将来は今まで以上に交流が盛んになる事を願ってやみません。

異国アメリカのニューヨークに同じ故郷の人々が存在しているという事を、皆様の心の中にとどめていただければ嬉しく思います。

Have a good day!



ニューヨーク
鳥取県人会代表

内田 誠



📷 ニューヨーク鳥取県人会 内田奈美さん(内田誠氏の長女)壮行会



📷 NYCの象徴 クライスラータワー



多文化共生サポーター オンライン研修の報告



9月12日にオンラインで全体研修を開催し、県内全てのサポーターの方にご参加いただきました。

今回の研修のメインは、公益財団法人しまね国際センターの仙田武司多文化共生推進課長によるご講演でした。本県のサポーター制度創設の参考となった島根県外国人地域サポーターの活動についてのご講演は、研修参加者の関心も高く、サポーター、また行政の担当者からも内容を深く掘り下げた質問が出るなど、非常に有意義な研修となりました。



ベトナムクイズにチャレンジ

ベトナムのあそび
ダーカウ(羽根つき)

ベトナムって
どんな国?

モンゴルって
どんな国?

台湾について
知ろう

特集

子どものための 異文化理解 体験講座を 開催中



モンゴルの
あそび(シャガイ)

迫力ある
台湾ゴマの実演



チームに分かれて
ネイバポー(袋とび)

みんなが夢中
になったゴマとび



世界のことを知って、見て、
感じた異文化をご紹介します

9月から12月上旬にかけて、応募いただいた県内の小学校14校へ当財団に勤務する職員(ベトナム・モンゴル・台湾出身など)を講師として派遣しています。

子どもたちは、その国の生活や文化について写真や実物を見ながら興味深くなったり、その国の遊びにチャレンジしたりと講師と一緒に身体を動かしながら楽しい時間を過ごしました。



子どもたちの声



- ベトナムの遊びがいろいろあって楽しい。
- いつかベトナムやモンゴルに行ってみたいです。
- 台湾のカタチがさつまいもに似ていると言われた時、「確かに」と思った。
- 川で暮らすベトナムの生活はすごいと思った。
- モンゴルの遊びシャガイは骨を使うのでびっくりしました。
- 台湾と日本は違うところもあるけれど、同じところもたくさんあると知った。



先生のコメント



- ベトナムの学習やあそびの体験ができたことで、ベトナムのことをより深めることができました。
- 「スーホの白い馬」の学習の時に、馬頭琴や草原(ゲル)のイメージの想像に活用できると思います。
- 児童は外国に興味を持ち、目を向けるいいきっかけになったので、社会の学習に生かしたり、多様な文化に目を向けさせたい。
- 他の国の人々との交流やコミュニケーションを通して、お互いの文化を尊重する態度の育成につなげていきたい。